

都市計画道路白岡宮代線（以下「白岡宮代線」という）の整備状況を調査した。

白岡宮代線は、東北自動車道で分断されている本市の東側地区と白岡駅東口及び白岡駅東部中央土地区画整理事業地内を連絡し、市役所、はびすしらおか、こもれびの森、南中学校などの公共施設に接続する重要な道路ネットワークを形成する路線である。

災害等が発生した場合には、救急車や消防車などの緊急車両の運行路として、また、支援物資などを運搬する輸送路として使用する重要な路線である。

現在、東北自動車道の東西の往来は地下道を通行することが多いため、ゲリラ豪雨等の大雨時には短時間ではあるが冠水してしまうこともあり、迂回を強いられることがあることから、通行者の利便性が問題となっている。

さらに、東北自動車道の上空を越える場合



は、県道の新寺塚橋、千駄野橋及び小久喜橋を通行することとなり、いずれも歩道がないことから、歩行者の安全性が問題となっている。

白岡宮代線が整備されることにより、東北自動車道をまたぐ道路が整備され、通行者の安全性や利便性が飛躍的に向上される。

また、住宅宅地供給の促進が期待できることだが、現状、道路周辺の地域では規制によって住宅地としての利用は難しい。住宅建築が容易となるよう規制の見直しなどを検討していただくことを期待する。

蓮田白岡衛生組合 議会報告

4年度の予算総額は、18億432万2千円で前年度比1.1%増。

歳入の主なものは分担金及び負担金で全体の73%(3年度は69.5%)。次に使用料及び手数料で20.3%(3年度は26.5%)。桶川市のごみ手数料(約1億4百万円)が無くなったため。

歳出の主なものは、衛生費(ごみ・し尿処理経費)で全体の72.7%を占めている。

定例会が4回、臨時会が1回開催され、人事案件が1件、条例関係が4件、予算関係が5件、決算認定が1件、規約関係が1件、専決処分の承認が1件の合計13議案が審議され、いずれも原案のとおり可決した。

3年度の組合で受け入れたごみの総量は、3万5559tで、資源物の収集量は4052t。その後、中間処理を経て、資源化量は8199t(リサイクル率は約23.1%)、最終処分場埋め立て量は755tとなっている。



蓮田白岡衛生組合 環境センター